

フラスター液剤の処理がブドウ「シャイマスカット」の新梢伸長に及ぼす影響

フラスター液剤を満開10~20日後に散布処理することで、
果実品質を損なわず、6~8月の新梢管理作業の省力化が期待できる。

1. 試験区の構成

供試品種：シャインマスカット（14年生、一文字型整枝短梢せん定樹）
1樹に5試験区を設置、3樹反復

試験区	希釈濃度	処理日
①区	1000倍	満開10日後（2021/6/9）
②区		満開18日後（2021/6/17）
③区	500倍	満開10日後（2021/6/9）
無処理	—	—

調査方法：試験区から平均的な5新梢を選び、約10日おきに1新梢当たりの総伸長量（cm、結果枝伸長量+副梢伸長量）を調査。

3. 果実品質

試験区	果房重 (g)	1粒重 (g)	果粒数 (個)	果皮色 ^{x)} (cc)	糖度 (° brix)	酒石酸含量 (g/100ml)	房締まり ^{y)}
①区	676ab	16.3	41	3.0	16.5	0.29	2.6
②区	730a	17.1	42	2.9	16.0	0.28	2.4
③区	682ab	16.8	41	3.0	15.9	0.28	2.2
無処理	662 b	16.5	41	3.1	16.6	0.27	2.1
有意差 ^{z)}	*	ns	ns	ns	ns	ns	ns

^{x)}山梨県総合理工学研究機構が開発したシャインマスカット専用の収穫適期判別カラーチャートを使用。

^{y)}果房全体のまとまりを3段階（1：悪、2：可、3：良）で遠観評価。

^{z)}Tukeyの多重検定による（*は同列の異なる英小文字間には5%水準で有意差あり、nsは有意差なし、n=3）

2. 新梢伸長の推移（満開50~80日後）

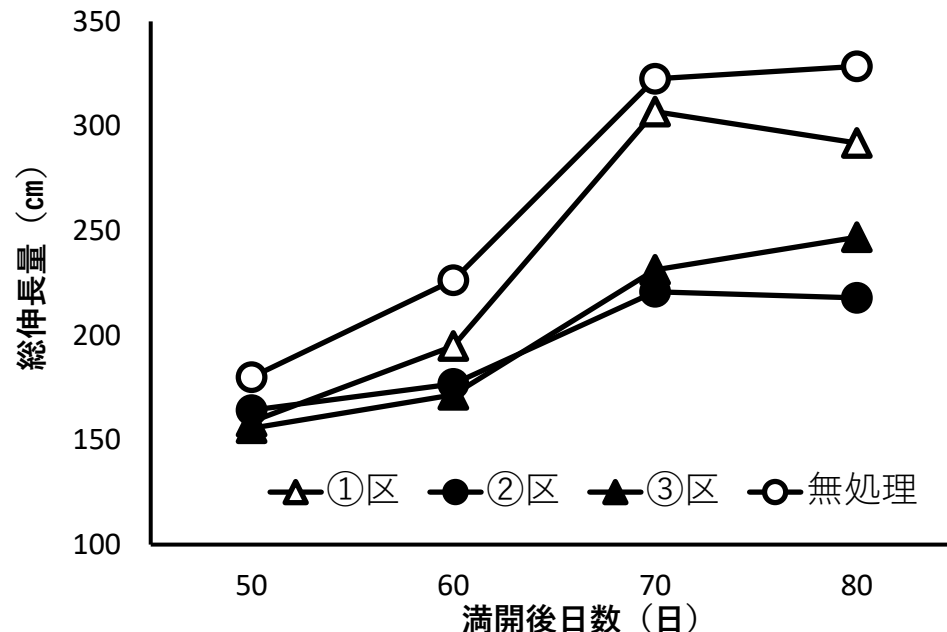
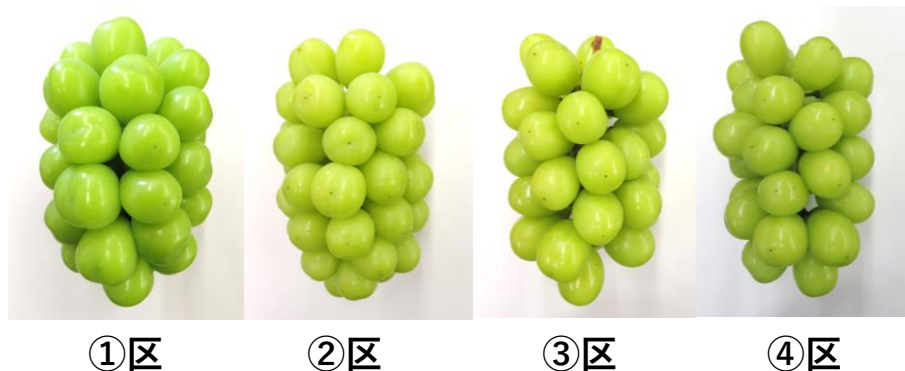


図1 フラスター液剤処理がシャイマスカットの新梢伸長に及ぼす影響

4. 果房の様子



①区

②区

③区

④区